



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年6月26日
文責：校長 江上 知男

「天災は忘れた頃にやってくる」…ではないようです！



集会(運営委員)



引き渡し(2年教室前)

6月23日(金)は、本校の「防災デー」でした。まず、児童会主催の「防災集会」をオンラインで行いました。担当の中ノ森先生が「備えの大切さ」を話した後、保健室の杉本先生が「リラクゼーション」を指導してくださいました。その後、「引き渡し訓練」を行いました。

保護者の皆さまには、平日の午後にも関わらず子どもたちを迎えに来ていただき、心から感謝します。短時間に整然とお子さんを引き取っていただく様子に、「積み重ねは大事だなあ」と考えさせられました。出された反省点をもとに、「いざという時」に備えたいと思います。

さて、天気予報では「いよいよ今週から梅雨本番」となるようです。近年、「線状降水帯」「ゲリラ豪雨」等々の言葉を頻繁に聞くようになり、学校としては「気が休まらない季節」です。特に、嘉島西校区や私の住んでいる隣の画図校区は、水害のリスクは決して低くありません。そこで、少しでもリスクを遠ざけるためには、「危険な状況が近づいたときに取るべき行動を普段から決めておくこと」が大切だと言われています(引き渡し訓練もこれに該当します!)

嘉島町のホームページには「洪水ハザードマップ」が掲載され、災害が発生する恐れのある危険箇所や避難所等が記載されています。ちなみに、嘉島西小学校も指定緊急避難所です。ぜひ、ご家庭で確認していただきますようお願いいたします。子どもたちはタブレットで調べてください。

毎年のように大雨による被災地が生まれています。奇しくも今日は、500名以上の死者を出した熊本大水害(6・26水害)から70年に当たる日です。今も昔も、天災は「忘れた頃にやってくるもの」ではなく、「常にそこにあるもの」だと感じます。みんなで「備え」をしておきましょう。

「西小コーディネーター」誕生！



荒木コーディネーター

「読み聞かせ」「フッ化物洗口」「体験活動」「子どもの安全見守り」等々、学校は地域の方々と連携しながら教育活動を進めているところです。しかしながら、学校と地域が連携するためには、町のことをよく知り、人と人をつないでくださる「橋渡し役」がどうしても必要です。この役割を担ってくださるのが、嘉島町教育委員会に所属している田中明子さん(地域学校協働活動推進員)です。豊富な人脈から、学校の要望に応えてくださいます。

今年、この仕組みをさらに促進させるため、「西小コーディネーター」と称して、前PTA会長の荒木賀代子さんにも「橋渡し役」をお願いすることになりました。荒木さんには、月に数回職員室に来ていただき、担任が考える「学校が地域の方々に協力いただきたいこと」についての相談に乗る形で、地域の方やPTAボランティア委員会等々との「マッチング」をしていただきます。田中推進員・荒木コーディネーターの「2人体制」になったことで、更なる連携が期待できます。

多くの地域の方々に学校に来ていただき、子どもたちと活動していただければ有り難いです。